

SEMMOTO NEWSLETTER

2021.11.26. No. 5

CONTENTS

- ◆ 第4期奨学生認定証授与式
- ◆ クラウドファンディングのご報告
- ◆ 2021年度9月奨学生レポート



第4期奨学生認定証授与式にて



公益財団法人

千本財団

Frances and Sachio Semmoto
Foundation

■第4期奨学生認定証授与式

2021年11月20日（土）に奨学生認定証授与式を都内会場にて開催しました。認定証授与式には、全17名の奨学生の他、千本倅生代表理事、小林理事、千本祥子評議員、事務局スタッフ2名が参加し、新たに第4期千本奨学生とにして認定された5名を祝福しました。

認定証授与式では、第4期生の皆様に自己紹介をして頂き、写真撮影を行いました。また、認定証授与式の後に感染対策を施した状態で懇親会を開催し、出席者それぞれが自己紹介を行いました。日本語学校に所属する第4期生にとっては、志望大学に在籍する上級生と交流する機会となりました。



千本代表理事から第4期生に認定証の授与



第4期生の集合写真



懇親会の様子
(小林理事の挨拶)



懇親会の様子
(歓談する奨学生たち)

□奨学生による認定証授与式参加の感想

MAHESA PAMUNGKAS SUGIHARTO/マヘサ パムンカス スギハルト (インドネシア)

明治大学 経営学部 経営学科 1年生

対面で先輩たちや後輩たちや千本財団の方々に会えて嬉しかったです。第4期生の授与式やその後の食事会も凄く楽しかったです。後輩たちの夢を聞いて、なんだかんだ自分も自分の夢を思い出して、日本に来た理由や目的を改めて思いました。千本さんの話も聞いて良かったです。ケータリングの食品もとても美味しかったです。少し量が少ないのですが、品のある食べ物で幸せでした。ほぼ半年ぐらいダイエット飯しか食べない私にとっては幸せな食事会でした。その後の二次会にも参加し、先輩との距離が少しでも縮まったのではないかと思います。来年の研修旅行で、また先輩方との距離を縮めていきたいと思っています。非常に楽しい1日でした。

HA THI TRA MY/ハ ティ チャ ミー (ベトナム)

東洋大学 経済学部 国際経済学科 1年生

奨学生認定授与式に参加させていただき、心から感謝しております。久しぶりに千本財団の方々や、1期生・2期生・3期生の皆と再会したり、初めて4期生に会うことができ、とても楽しかったです。4期生の後輩はみんな日本語が上手で、様々な夢や目標を持ち、コロナ禍に大変なことがたくさんあっても頑張っていて、さすがに優秀だと思います。そういう姿を見た後、後輩に期待したり、社会に役立つ人材になるために皆と一緒に頑張りたいです。また、皆と色々な面白い話ができて、もっと仲良くなりたいと思っています。ご用意していただいた料理も美味しかったです。機会があれば、また皆と会いたいと思っています。

NGUYEN BAO HUNG/グエン バオ フン (ベトナム)

同志社大学 商学部 商学科 2年

1年半ぶりに千本財団の方々、奨学生の皆さんに直接お会いすることができ、大変嬉しかったです。今回の奨学生認定授与式を通して、他の奨学生と、勉強、サークル、アルバイトなどといった大学生活に関する様々な話ができました。自分から後輩にアドバイスを送ったり、財団の方々や先輩から貴重なアドバイスも多くいただいたりしました。これは、勉強だけではなく、将来の進路を決める時にも非常に良い参考になると思います。コロナ禍で、友達など他の人との話す機会が少なくなっている中で、貴重な交流の場を設けていただき、深く感謝しております。将来の貴財団の交流イベントも楽しみにしております。

LIM AN QI/リン アン チ (マレーシア)

京都精華大学 マンガ学部 アニメーション学科 2年

今回東京に招いていただき、誠にありがとうございます。やっと皆さんと会え、色々なコミュニケーションが取れてとても楽しい時間でした。4期生の皆さんはすごく優秀で、自己紹介を聞いてびっくりしました。自分はまだ緊張しやすく、あまりうまく喋れないところがたくさんあったと思いますので、もっと頑張らなきゃ！ という気持ちになって日本語を勉強し続けています。また、準備していただいた夕食も美味しかったです。感染防止策として全ての料理は一人分ずつに分けてある形で置いてあることを目にするのが初めてなので、衛生的だけでなく、デザイン（料理の盛り方/料理自身）も印象的です。

SABRINA MEGUMI AHMAD/サブリーナ メグミ アハマド (インドネシア)
神奈川大学 理学部 数理・物理学科 3年

奨学生認定授与式とその後の二次会に参加できて、本当に良かったと思います。終始楽しく楽しかったです。全期生揃って対面できる機会は中々ありません。そして、今までの授与式とは違って一緒に食事をしたので、新鮮に感じました。

最初は二次会に参加するかどうか迷っていたんですが、参加して正解でした。今までは同期生としか話すことがなかったので、二次会に参加したことにより、先輩後輩や1期生、2期生なども関係なく盛り上がり、今まで話したことのない人たちとも話すことができ、皆さんの新しい一面が見れたり、仲がグッと深まったと思います。その日は私の誕生日だったので、凄く大きなプレゼントをもらった気分でした。

ANDREW LIM KAR JUN/アンドリュー リム カー ジュン (マレーシア)
アジア学生文化協会

奨学生認定授与式に出席して、本当に色々なことを学びました。自己紹介する時はちょっと緊張して、準備した通り話せなかったですが、今後はもっと頑張ります。また、千本倅生さんの話を聞いて、すごい人だなと思って、自分も将来、彼のような人間になりたいと思っています。それから、先輩たちが優しくて、良いアドバイスを沢山もらって、様々な大学生にしかわからない情報を手に入れました。二次会も楽しく、今後ももしこのようなイベントがあったら、また参加したいです。

LAI QING LONG/ライ チン ロン (マレーシア)
アジア学生文化協会

奨学生の皆さんをより知ることができまして、とても良かったと思います。また、大学についても色々な質問できまして、将来の目標がより明確になりました。最初は皆がより真面目かと思ひまして、結構緊張してました。しかし、奨学生の先輩たちが本当に親切で色々話をかけてくれました。そして、次第にその緊張感もなくなりました。本日は本当に参加することができて、嬉しかったです。

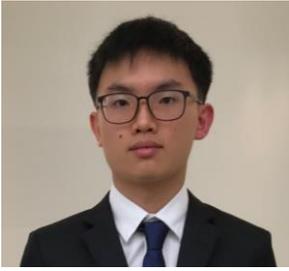
MICHELLE DEBORAH/ミシェル デボラ (インドネシア)
東京国際大学付属日本語学校

授与式の後、他の奨学生と話をすると、もっと勉強しようという気持ちになりました。私は、同じジャカルタ出身のインドネシア人の先輩から刺激を受けました。彼女の日本語を聞いて、日本人のような会話に聞こえました。自分はまだまだだと実感しました。また、日本の大学に入学するために苦労したにもかかわらず、日本の大学での生活を楽んでいる様子が伝わってきました。学校ではなかなか友達になれなかったの、いろいろな国の学生と出会えてとても嬉しかったです。しかし、授与式では、初めて会ったにもかかわらず、みんな親切で、私を心から歓迎してくれました。日本の大学での生活が待ち遠しいです。

NATHANAEL IAN GUNADI/ナタナエル イアン グナディ (インドネシア)
JET日本語学校

とても楽しかったです。先輩たちと話し合ってたくさんの情報ももらいました。そして皆の日本語はさすがに上手で、私も負けないように頑張ります。

□新しい奨学生（第4期生）のご紹介



ANDREW LIM KAR JUN/アンドリュー リム カー ジュン（マレーシア）
アジア学生文化協会

私は大学に進学したら、情報やプログラミングについて深く学びたいです。私は特に、人工知能に関する研究に興味があります。大学卒業後はIT関係の仕事に就職して、日本で経験を積みみたいです。将来は日本に限らず、アジア各国で活躍できるプログラマーになりたいです。



NATHANAEL IAN GUNADI/ナタナエル イアン グナディ
(インドネシア) JET日本語学校

私は人とAIの関係について勉強したいです。大学卒業後は大学院に進学したいと考えています。社会に出る前にできるだけ多くの知識を身につけて、自分の研究を進めたいと思っています。大学院卒業後は、学んだことを活かせる仕事に就き、人々の生活をより良くするために尽力したいと思います。



MICHELLE DEBORAH/ミシェル デボラ（インドネシア）
東京国際大学附属日本語学校

日本の大学では、木造建築物の保存方法と地震対策の技術を学びたいと思っています。大学卒業後は、インドネシアで古い建物でも地震に強い建物に修復できるような仕事をしたいと思っています。日本で採用されている耐震技術を学ぶことで、インドネシアの歴史的建造物を未来に残したいです。



LAI QING LONG/ライ チン ロン（マレーシア）
アジア学生文化協会

私は将来、街づくりに関する仕事をしたいと思っています。大学では、経済地理学や環境マネジメントについて学びたいです。大学卒業後は、地域の活性化に関する仕事をしたいと思っています。学んだことを活かして、マレーシアの僻地を住みやすい街へ変え、人々の生活水準を上げたいです。



LEE ZEE YEEN/リー ジ イン（マレーシア）
淑徳日本語学校

私はマレーシアの政治状況を改善するために、大学で国際公共政策を学びたいです。マレーシアは多民族国家として、民族間の平和共存が必要ですが、現在政治の影響で民族間の不満が深刻化しています。私はこの問題を解決するために、民族の融和に取り組みたいです。

■クラウドファンディングのご報告

千本財団では、2021年7月9日から2021年9月24日かけて社会問題と向き合う人のクラウドファンディング、GoodMorningにて、「コロナに負けるな！日本の大学進学を目指すアジア太平洋出身の留学生を支援したい。」のプロジェクト名で、第4期奨学生への奨学金の寄附金を募集しました。

「コロナの影響でアルバイトのシフトが減り、生活に困っている留学生がいます。特に日本の大学進学を目指して日本語学校に在籍する留学生の内、アジア太平洋出身の多くはアルバイトをしながら受験勉強をしています。彼らがアルバイトをしなくても受験勉強に専念できるよう、一緒にサポートしませんか？」という当プロジェクトの呼びかけに対し、計17名の方から総額1,255,000円のご支援を頂きました。この内、クラウドファンディングの利用手数料等、11,295円を差し引いた1,130,755円を新たに募集した第4期千本奨学生への奨学金に全額使わせて頂きます。

第4期千本奨学生につきましては、2021年10月3日（日）に都内会場にて奨学生選考委員による選考を経て、定員上限7名のところ、5名の奨学生を新たに選定し、理事会の審議を経て正式な奨学生として認定されました。

【クラウドファンディングでの寄附金受取明細】

- GoodMorningを通じた総寄附金額：1,255,000円
- 手数料（4%）：50,200円
- 決済手数料（5%）：62,750円
- 手数料・決済手数料への消費税：11,295円
- （総寄附額） - （手数料 + 決済手数料 + 消費税） = 1,130,755円 *奨学金への振替額

【第4期千本奨学生への奨学金について】

- 給付額：月額5万円（1人当たり）
- 採用人数：5名（インドネシア人2名、マレーシア人3名）
- 給付期間：2021年10月～2022年3月の6カ月間
- 給付目的：
翌年4月より日本の四年制大学の進学を目指す、当財団が指定する日本語学校に所属する留学生が受験勉強に集中できるよう、返還不要の奨学金を給付する。
- 奨学金の継続について：
奨学生が当財団へ出願時に申請した指定の大学に合格進学する場合、原則として大学4年間も継続して支援します。その場合、1人当たり月額8万円の奨学金を給付します。

■2021年度9月奨学生レポート（1期生～3期生）

①前期で最も良かった講義について、②前期で最も苦労した講義について、③後期に向けての抱負

SABRINA MEGUMI AHMAD/サブリーナ メグミ アハマド（インドネシア）
神奈川大学 理学部 数理・物理学科 3年

①前期で特に受けてよかった授業は物理の基本方程式をコンピュータ内のプログラミングなどを使って解析する「計算物理学」という科目です。1年生の頃に初めてプログラミングを学び、難しかったですが楽しくてやりがいを感じました。そのプログラミングを活かした専門科目が計算物理学であり、コンピュータと物理学という今まで学んだことのない分野であったため、新鮮に感じて馴染みのある物理の方式を新しい視点から見られたと思います。

②苦労した科目は物理学実験でした。5つのテーマで単純な実験から数時間かかる実験があり1つのテーマを2週（6コマ）に分けていたためレポートの量が去年より多かったです。感染拡大対策で教室内の机にアクリル板やシートがあり、ホワイトボードが見えなくなることもありました。その他、夏が近いにもかかわらずエアコンを切ったままの時もあり快適ではない日が多かったです。しかしもちろん他の授業と比べて体を動かして大きな機械を操作したり、先生や班内で話し合いすることもあったため、一番「通常通り」の授業だなと感じました。

③後期は必須授業が時間外授業で受けなければいけない場合も多いため、興味はあるのに時間が合わなかった授業を受けたいと思っています。後期は前期と比べて遠隔授業が圧倒的に多いため家にいることも増えると思いますが、ずっと家にいるのも体に良くないため今度こそ定期的に運動することを心掛けています。

TAN ZU SHENG/タン ズー シェン（マレーシア）
山梨大学 工学部 コンピュータ理工学科 3年

①私は特に自分でプログラムを書くことが好きなので、前期の講義の中では、やはりソフトウェアプロジェクト開発という授業を学んでよかったと思います。以前にもプログラムを書く授業も結構ありましたが、その時はただプログラムがちゃんと動くかさえすればそれでいいと思い、特に深く考えていませんでした。しかし、今回の授業を通して、いかに良いプログラムが書けるかについても学べました。つまりプログラムの品質管理について学んでよかったと思います。今後もこの授業で学んだことを活かして、品質のいいプログラムが書けるようになりたいと思います。

②今学期で最も学習に苦労した講義はソフトウェア工学及び演習2という授業でした。この授業で開発したソフトウェアをどのようにテストするかを学びました。しかし、ソフトウェアをテストする方法は一つに限らず、開発している段階によってテスト手法が異なります。そのため、それぞれのテスト手法は何のためのテストかを知る必要があります。また、テストのやり方もいくつか覚える必要があって、時々どのような場合にどのようなテスト手法を使ったほうがいいのか紛らわしくなってきます。

③後期は他人と組んで作業をさせる授業がいくつかあります。今まではよく自分で作業をしてきましたが、他人と協力してプログラムなどを作る作業であれば話が違ってくると思います。グループメンバーと相談し、誰がどの部分を担当するかなどいろいろ考えなくてはならないので、コミュニケーションが肝心なところになると思います。また、グループでプログラムを作るとしたら、プログラムの書き方に気を付けなければならなくなります。プログラムが動きさえすればいいだけの話ではなくて、他人が読みやすいようにプログラムを書く必要があります。このようなこともソフトウェアプロジェクト開発という授業で少しだけ学び、意識しながら書いたので、後期はその知識を活かせればと思います。

VU KIM QUANG /ヴ キム クァン (ベトナム)
東京理科大学 工学部 機械工学科 3年

①前期で取ってよかった科目は機械製図と機械力学でした。この2科目は必須科目なので、必ず取らなければならない科目ですが、専門知識を一番楽しく勉強できたのはこの2科目です。機械製図では、2年生の時と違って、部品の設計だけではなく、さまざまな部品を設計して、それらの部品を使って、減速機の設計を完成しました。なので、この科目では自分が好きな計算や図面をすることができ、実際の設計をするときにどんなことがあるのか、何に気をつけなければならないのか実感できました。また、機械力学では主に振動について勉強しました。これは車や電車だけではなく、海や宇宙などの環境で活動する機械にも非常に大事だと気付きました。そういう環境で、少しでも機械に力が働いたら振動が生じ、場合によっては故障につながる原因となります。その場合はどうすれば振動をどのようにどれくらい抑えればいいのか学べました。

②自分が最も苦労した科目はセンシング工学の授業でした。授業の内容を理解するのに時間がかかり、今でも全て理解した自信がありません。この科目ではセンサーを作るのによく使われる知識について学べると思い、履修しましたが、実際の内容は少し違いました。講義の内容は主に画像センサーの画像処理についてだったので、数学の理論的な話と少しのプログラミングがメインでした。数式の説明は理解しましたが、画像を処理するときに、その数式がどのように使われるかは全部理解できませんでした。レポートを作成するときには外部資料をたくさん参考にしました。

③勉強面では必修科目が実験と製図のみになるので、振動学や材料強度など丈夫な機械を設計するときに必要な知識がえられる科目を履修し、大学院の入学のための勉強も同時に頑張りたいと思います。また、生活面では最近父が亡くなり、気持ちを整理するにはまだ少し時間が必要ですが、家族のために頑張っていて健康でいられるように規則正しい生活を送りたいと思います。また、部活では卓球部は全く活動しなく、自分の代の退部時期になりましたので、体育局での仕事とインターンシップを頑張りたいと思います。

CHEAH JIA YI/チャー ジャー イー (マレーシア)
東京農業大学 生命科学部 分子生命化学科 2年

①今学期で特に学んでよかった講義は二つの実験科目と日本語のスピーキングです。無機と分析化学の実験では今まで数学や統計学で学んだ知識がどのように実験の中で使われているかを勉強しました。データの処理や報告書の書き方も勉強しましたので大変役に立ちました。有機の実験科目では行った実験の反応機構を書き出す必要があるので実際に目で見て理論を理解することもより簡単になったように感じます。日本語の授業では発表の練習が多かったので人の前で発表する自信が増え、履修してとても良かったと思います。

②今学期でもっとも学習に苦労した講義は基礎物理学と有機化学の二つです。基礎物理学では前期で勉強した内容との関連性が少なく用語も似ているものが多かったので全部覚えるまでに少し時間かかりました。有機化学では一年生の講義で勉強したものを関連しているものが多かったのですが範囲が広く、オリピックで授業の数が減りましたので、一つの講義に入っている内容が多かったです。有機化学と他の科目の復習のバランスを取るのに苦勞しました。

③前期のGPAは少し低かったので後期はアルバイトを減らして勉強に集中したいと思います。前期は緊急事態宣言で授業が半分オンライン半分対面になった事もあって、学校側の通信問題や施設の不具合のため授業が上手く進まないことが多かったです。後期ではすべてオンラインで実施する科目も増えたのでこのような問題が起こらずに集中して勉強できると嬉しいです。また、コロナが3年生になる前に収まったらサークルにも入りたいと思います。

MELLISA ARDELIA/メリサ アルデリア (インドネシア)**東京理科大学 理学部第一部 化学科 2年**

①物理化学2Aという科目です。量子論の基礎となる概念を取り扱う科目で、先生の教え方・説明のし方がとても上手で、量子化学に進みたい私としてはありがたい授業でした。1年生の前期の授業でよく他の科目に出てきた演算子等の基本的なモノも実際何であるかをきちんと最初から説明してくださったので、ずっと他の講義で見ていると分からないまま使っていたのがこの講義のおかげでやっと分かるようになってきました。そのため、物理化学系だけでなく、私の化学全体への理解が深まり、とてもためになった講義でした。

②一般物理学1という科目を履修していましたが、内容が難しい上、先生の教え方があまり私に合いませんでしたので、とても苦労していました。一般物理学だけであって、多岐に割った内容でしたが、各テーマもそれぞれ難易度が高く、結局分からないまま次の話に進められるの繰り返しでした。必須科目ではないのですが、私は量子化学に進みたいので、物理は欠かせないのであり、後期にも一般物理学2を受けることになりましたが、不安でしかないです。

③勉強面では、前期の成績が全体的に良くなかったので、より頑張っって今年度のGPAを上げるのに努めます。部活面では、試合に出場させてもらえるように頑張り、1次予選で落ちないことです。

LIM AN QI/リン アン チ (マレーシア)**京都精華大学 マンガ学部 アニメーション学科 2年**

①「グローバル・スタディーズ」という講義を前期に取りました。それは世界中に何が発生しているのかをたくさん教えていただける講義です。日本で起きてる難民と外国人技能実習生問題をはじめ、コロナに影響されている各国の状況、ミャンマーのクーデター、戦争など、教材として使われた内容の幅が広くて、「勉強になった!」という感じがすごいです。課題としては先生が用意した20本くらいの映画から三つ選んで鑑賞した後にレポートを三つ作成します。全ての映画はドキュメンタリーで、これまで一つも見たことがありませんので、どれを選んでもその内容は自分にとって新鮮です。私が見たのは被爆者、アフリカにおける戦争、日本の外国人技能実習生問題関連のドキュメンタリーでした。この課題は講義で教わったモノに限らず、エクストラの知識を得ることもできるため、やりがいがあります。この講義をとってよかったなとずっと思っています。

②抽選科目のストップモーション講義は今年問題なく履修することができました! この講義で様々な機材に触れることができ、カメラワークやライティングなどについてもたくさん学びました。前半部分はグループで作業したり、ショートビデオを撮ったりしましたが、講義の後半になったら1人作業が増えました。もちろん、グループに分かれて機材の設置とかは一緒にやりましたが、ショートビデオを撮る際には1人一本ずつという形に変わりました。時間制限もありますので、より挑戦的な作業になった感じがします。また、期末課題は1人ずつ一匹以上のクレイ人形を作って、主人公として自分のショートビデオを作るというものでした。最初は一匹の人形を作るのにかかる時間や難易度などを考慮していなかったため、2匹作ろうと案を出しました。そのあとは地獄でしたが過程が楽しかったです。授業以外の時間でも学校に行って作業していました。色々苦労した後、ショートビデオを完成させたら言葉で言い表わせないほどの達成感を感じました。頑張っって作った作品ですからポートフォリオにも入れました。

③夏休みが始まってからずっとポートフォリオを作ることに没頭していたため、一時期体調が悪かったです。ですので、今は体調を崩さないようにちゃんと休憩を取って、ご飯を食べて、健康を維持しようとしています。後期になったら自分に一番期待しているのはやはり今より良い作品や成績を出すことです。また、来年の夏休みに母国に帰ろうと思っていますのでその時にコロナが収まりますように願っています。

NGUYEN BAO HUNG/グエン バオ フン (ベトナム)
 同志社大学 商学部 商学科 2年

①前期の講義の中で、一番印象に残っているのは「マーケティング論」という講義です。私は、高校生の頃から、マーケティングに対して興味を持っていますので、初めて興味深い分野について勉強することができ、大変嬉しかったです。この講義を通じて、ブランド価値、製品戦略、流通戦略、プロモーション戦略などといったマーケティングに関する知識を多く身に付けられました。それだけではなく、先生が身近な現象、事例も数多く紹介したおかげで、内容が理解しやすくなり、面白くなりました。しかし、残念ですが授業形態はオンデマンド型だったため、先生に直接会うことができませんでした。これからは、マーケティングに関するより専門的なことを学ぶのを楽しみにしております。

②前期の講義は主に専門科目で、自分の専攻には関係ない科目も数多くあったため、少し大変でした。その中で、もっとも学習に苦労したのは「貿易業務論」という講義です。講義内容としては、貿易に関する法律の学びです。そのため、日本語の専門用語だけではなく、英語の専門用語も講義に多く出てきました。それに加えて、法律と条約の数も多くて、それぞれの略称があって、更に旧法と改正法に分かれており、異なる条件、ケースに適應されます。非常に複雑で、私は歴史の出来事、法律などを覚えることが苦手なので、特にこの講義の勉強に苦労しました。

③秋学期の講義の半分以上は一般教養科目なので、春学期ほど大変ではないと思いますが、全ての専門科目は自分の専攻に関係ないため、いい成績を取るために勉強に一段と頑張ります。また、今学期から、ゼミナールも始まるため、クラスメートと仲良くして、専門的な研究に取り組みたいと思います。それに加えて、資格の勉強、来年の就活の準備も進めます。

サークルでの活動はコロナの状況によって変わりますが、少し落ち着いたら対面練習が再開され、お祭りが無事に開催されましたら、それに向けて練習に取り組みたいです。また、年末から、来年度の演舞の制作が始まるため、いい演舞が作れるように一生懸命頑張ります。

セブンイレブンでのアルバイトにも慣れましたので、お客様からより多くのお褒めの言葉をいただきますように、より頑張りたいと思います。

CHIN TECK CHING/チン テク チング (マレーシア)
 茨城大学 工学部 物質科学工学科 1年生

①前期に材料科学入門の授業を受けることができてよかったです。以前、この授業は一年次に受講できませんでしたが、材料科学の基礎を習得できるよう今年から一年次も受講できるようになりました。この授業は最初非常に難しかったです。新たな科学分野をゼロから日本語で勉強するのは大変でしたが、TAの先輩や先生が優しく、何回も説明してくれました。また、ネットで検索することで色々な情報を得ることができました。特に興味深かったのは金属に関する材料強化、腐食、破壊などについて、データを使って計算できると学べたことです。この講義を受けて、やはり自分が選んだ学部は間違いないなと思いました。

②前期の生物学入門講義にもっとも苦労しました。私は講義の前にA-レベルを完了していたので二年ぐらい生物学の勉強や復習はしていませんでした。突然生物の授業を受けることになり、そして毎回の授業で必ず小テストがあったので、最初は厳しかったです。生物学はとにかく覚えるしかないと思います。例えば、人間の器官や微生物の名前です。そのため、毎回の授業が終わった後、必ず1時間復習をしました。授業で学んだことを小さいノートに書き、小テスト前にはノートを持ち歩いて覚えました。また、期末テストは学期で学んだ内容全てが試験範囲となるので、全て覚えられるようにほぼ毎日生物学の復習を行いました。

③後期に向けて、前期と同じくらいいい点数を取れるように新たな講義を精一杯頑張りたいと思います。また、仲がいい友達を作りたいので対面授業を受けたいです。

HA THI TRA MY/ハ ティ チャ ミー (ベトナム)**東洋大学 経済学部 国際経済学科 1年生**

①前期の学習を振り返って、特に学んで良かったのは経済外国語という講義でした。この講義では主に英語で、経済に関する時事問題や話題などについて学んだので、英語力だけでなく、専門知識も身につけられました。毎回教授に話題になっているニュース、動画を見せてもらい、課題に取り組みました。選択肢、穴埋めなどといった課題を行うだけでなく、関連情報を調べたり自分の考えを書くこともありました。この科目で新しい英単語を知ることができ、将来に役立つスキル・知識が得られました。経済外国語Ⅰから経済外国語Ⅵまで授業があるので、今後もそれを受けたいと思っています。

②前期の講義でもっとも学習に苦勞したのは国際キャリア概論です。言い換えれば、これは留学生のための日本就職活動入門です。最初は教授に日本の就活文化、就活事情、就活までに必要な準備などを色々紹介してもらいました。そして、ビジネスメールだけでなく、自己分析、業界・企業分析や面接対策なども書きました。実際に書いてみたら、一つの課題を完成するのに時間がかかりかかるとに気がきました。なぜなら、企業のことをしっかり研究しないと、面接で聞かれる質問を魅力的に回答することができないからです。どんな内容を書けば良いか分からなくなり、何度も書きなおしていたため、1日1問しか答えられませんでした。また、日本語の表現、言葉遣いにも気をつけなければなりませんでした。さらに、過去問を使って模擬グループディスカッションもやりました。私が何回かグループのリーダーをやってみました。難しくてもうまくできませんでしたが、よい経験になりました。時間がかかって苦勞はしましたが、この講義で得た経験やスキルは、今後の就活に非常に役立つと思っています。

③後期はオンライン授業が7割ぐらい占めるので、他の大学生とのコミュニケーションの機会が少なくなりますので、出来るだけ交流会に参加するつもりです。また、オンライン授業を受ける時、体がだるくならないように、毎日運動したり自炊したりするようにしたいと思います。

LEON ADITYO HARTANTO/レオン アディティオ ハルタント (インドネシア)**明治大学 理工学部 応用化学科 1年生**

①前期で様々な面白い講義がありました。特に、応用化学概論、基礎微分積分学と基礎物理/化学実験がとても良かったと思います。応用化学概論で4年生でできる色々な研究を紹介してもらいましたので、1年生から知ってよかった講義だと思います。基礎微分積分学では高校以上の数学知識が必要なので復習しながらやってきました。テ일러展開を学んでとても良かったと思います。実験は高校3年生以来やっていなかったもので、最初から実験の仕方を学べることで本当に良かったと思います。

②基礎物理実験が最も苦勞したと思います。内容の難易度はともかく、実験前の準備と実験レポートの作成に時間がかかり、かなり大変だったと思います。しかし、この過程によって、自分は実験についての知識を身につけてきました。さらに、理系学生としての態度(予習、復習、自習)を身につけることができました。とても良かった科目だと思います。実験以外では、基礎化学の授業もかなり大変だったと思います。教師が年寄で話し方が独特のために聞き取りにくかったと思います。対面授業のときも配布資料と全然違った話をしていたため、期末テストのときは大変でした。

③前期よりもっと頑張りたいと思います。前期はBの点数は3つがあって、まずその科目をAにする目標にし頑張りたいと思います。後期は前期より忙しくなるそうなので、前期よりもっと真面目に勉強しようと思っています。サークルはできるだけ多くのイベントに参加し、人間関係を広げたいと思います。生活面ですが、ダイエットを続けて、健康的な生活を送っていききたいと思います。

MAHESA PAMUNGKAS SUGIHARTO/マヘサ パムンカス スギハルト (インドネシア)

明治大学 経営学部 経営学科 1年生

①全部学んで良かったと思うのですが、春学期で特に学んで良かった講義は強いて言えば、経営総合講義です。この講義は企業担当者にキャンパスに来てもらい、企業の課題に生徒たちが取り組む講義です。良かったポイントは、まずグループワークなので、色々な人と接する事ができて、様々な意見も聞けて、視野が広がる事できることでした。次はこの講義を受けてから、企業のペインポイントなどを見つけるようになり、それを積極的に解決しようとする能力を得ました。まだまだ未熟で勉強が必要だと思いますが、経営総合講義を学んで良かったです。

②苦労したのはビジネス法です。この講義を楽しみにしていたのですが、結局苦労しました。オンデマンド授業で、動画を見るだけの授業なのですが、それが問題でした。1本の動画は約1時間半もあるので、見るのに非常に苦戦しました。集中が切れたり、先生の字が汚すぎて見えなかったり、先生のミスで動画の音声が入らなかったりして、様々な問題がありました。結局最後はレポートを書かされるのですが、先生の授業内容の伝え方がちょっと雑すぎるのと、動画の長さで中盤終盤の内容が入りにくいことで、レポートを書くのも苦労しました。なんとか書いて、単位をもらいましたが、やはり一番苦労しました。

③勉強は春学期と同様、むしろそれより上手くやっていきたいと思います。履修科目もきちんとじっくりシラバスを見てから登録したいです。夏休みから週5でジムに通っているのですが、その習慣をやり続けて秋学期も頑張っていこうと思います。その他の抱負は今の所特にありませんが、やって行くうちに絶対出てくると思います。秋学期も頑張っていきますので、応援よろしくお願い致します。

ALFRED NGU YOK FEI/アルフレッド ウー ヨク フェイ (マレーシア)

法政大学 生命科学部 応用植物科学科 1年生

①植物病原菌類学といった講義は必須講義の医科学概論より深く植物病原菌に関する知識を教えてくださいました。この講義から学んだ知識は実験レポートを書く際に色々役に立ち、それに課題は毎回2時間程度でできるので、ちょうどいいと思いました。この講義では病原菌類の分類、植物病原菌それぞれの繁殖方法やそれに関する歴史を学びました。世界3大樹木病害を深く紹介してもらった時に、植物病原菌類の深刻さや植物を伝染病から守る防疫法の必要性を理解し、それが面白いと思いました。この講義で学んだことはこれからも病原菌について色々実験が進んでいくので、その際にまた役に立つと思います。

②私が一番努力した講義は応用植物科学科の必須専門科目の植物基礎実験Ⅰでした。なぜなら、毎週必ず実験レポート課題が出されていた授業なので、書き言葉に慣れていない私にとってできないことが多くあり、たくさん練習したからです。レポートの書き方を学ぶために、それに関する外国人向けの日本語講義にも出ており、両方の講義を復習しながら授業を進めていくという感じの春学期でした。それに、実験科目は実験前の予習が重要なので、この科目の課外勉強にもかなり時間が掛りました。この科目は出席率と関係なく、すべては実験レポートの中身を基準に評価されるので、レポート課題の方は他の講義と比べれば少しストレスを感じていました。そのストレスを感じているからこそ、予習をしっかり行い、実験レポートの考察に自分のオリジナリティーを取り入れていました。様々な試行錯誤から学び、評価が最初のB-から最後のAになりました。

③技術士第一次試験に向けて過去問を解き、合格を目指します。技術士第一次試験において、専門科目のところには、主に農業土木の分野や農業に関するホットな話題がよく問われるので、それは農林水産省のホームページを参考にしながら、過去問をやっています。そして、今住んでいる物件の防熱性が悪いことによって室外より暑く、居住性が悪く、光熱費が高いという問題でずっと悩み続けており、それについては賃貸のオーナーに相談する予定です。